

# 一 般 質 問

12月議会では、4名の議員が一般質問を行いました。

## 学童保育設置に向けて

櫻谷 千重子 議員

今の学童保育が廃止されることを受け、保護者の方々から不安の声や強い存続の要望があります。そこで、市宇ヶ丘に放課後の学童保育設置に向け、早急に取り組むことが必要です。

部屋の確保や財源の問題など課題はありますが、この際、不必要な事業を廃止してでも学童保育継続に向けての財源の確保、保育チームの確保を早急に取り組んでいただきたい。

現在の事業は、平成21年度から3か年計画で、県のふるさと雇用再生特別基金を利用して試行的に実施しました。そして、緊急雇用創出事業で1年間延長しました。単独事業で実施する場合の町民の皆様への公平性を考慮し、事業を終了したい旨の説明を行ったと

福井町長

ころです。

牟岐町社会福祉協議会への再委託を行うのかどうか、また、保護者の負担をどうするのかも含め検討し、できるだけ早期に新しい計画を策定したい。

場所には、統合します小学校や保育所の一部、中学校の空き教室、町民センター、現在の牟岐小学校などいろいろ検討していますが、最終的には、地震・津波が来ても安全な場所で行われる方の負担にならないようにしたいと思っています。

## 海部老人ホーム民営化の進捗状況は

櫻谷議員

海部老人ホームの民営化は、3町での話し合いが不可欠だと思いますが、一部



おやこサポートセンター（おひさまスクール）

民営化という動きもある中、これを契機に町長の任期中に牟岐町としての指針を是非検討していただきたい。海部老人ホームを今後どうするのか、財源の問題、従業員の処遇などの課題はありますが、民営化の流れの中、改めて町長の見解と今後の見通しについてお伺いします。

福井町長

民営化するには、現在の正規職員の処遇の問題とか、

低所得の方の入所の可能性、引き渡すべき施設の整備状況など、受けていただく会社との調整・交渉が必要となります。数年前から町として検討を開始していましたが、一時、歩みを止めていたところですが、町の行政改革を進めるには、民でできることは民でやるのが基本であり、町が多くの方の力を借りて運営するというのは、地方公務員法や改正労働契約法の基本的な考え方として